

# 大津の農業 こんなことします (具体的取り組み)

1

## 「人をつくり、仲間をつくる」

### － 育てよう！次代を拓く担い手の輪

大津市の農業を支える上で最も重要なのは、毎日田畑をたがやす生産者のみなさんです。そこで、本ビジョンでは「人づくり」に重点をおいた取り組みを行います。

農業を生業とし多くの市民の食を支える大・中規模農家がしっかりと稼げる農業を実現し、兼業農家を中心とする小規模農家が安心して農業に取り組みながら地域の農業を守り続けることができ、そして農業に魅力を感じた次世代の担い手が新たに集う。こうした多様な担い手による、持続可能な農業の形を目指します。

### 基本施策

1. 農業法人等（大規模農家）や主業個人経営体（中規模農家）が稼げる農業を目指します
2. 兼業農家（小規模農家）や自給的農家が持続可能な農業を目指します
3. 次世代の担い手を集め、育てます

### 市民のみなさんも参加しよう！

- ホームページやSNSで気になった担い手農家を推してみよう！
- 週末農業や棚田オーナー制度を活用して、農業を始めてみよう！

基本施策	キーワード	具体的取り組み	計画全体の重点項目	第3期の重点項目
1. 農業法人等（大規模農家）や主業個人経営体（中規模農家）が稼げる農業を目指します	売上アップ	経営の多角化や高付加価値化、新たな販路開拓など、担い手の営農環境やライフスタイルにあったビジネスモデルの構築を支援します。	○	
	コストダウン	集落営農法人の広域連携や担い手同士のネットワーク化により、機械・人手の協力体制の構築や農地の集約化を推進し、コスト削減と省力化を目指します。		
	技術・知見	スマート農業に関する情報や体験機会を紹介するとともに、異業種とのマッチングの機会を提供し、新たな技術や知見の獲得を推進します。		
	体制強化	雇用や経営継承を支援するとともに、労働環境の整備も促し、持続可能な経営体制の強化と働きやすい環境づくりを推進します。		
	情報発信	市のホームページ等で担い手の情報を発信するとともに、国や県のアドバイザー制度を活用してSNS活用や経営に関する勉強会を開催し、消費者をファンに変える仕組みづくりを推進します。		
2. 兼業農家（小規模農家）や自給的農家が持続可能な農業を目指します	作業の軽減	スマート農業の導入に加え、草刈りや防除など労働集約的な作業を代行する農業サービス事業体の活動や立ち上げを支援することで、農作業の省力化を推進します。		○
	費用の軽減	中古農機具メーカーと連携し、機械のシェアリングや定額の貸出サービスなど、機械の導入や維持管理コストを軽減できる仕組みづくりを検討します。		
3. 次世代の担い手を集め、育てます	定年帰農者 新規就農者	市のホームページで先輩農家の取組を紹介するとともに、関係機関と連携して情報・技術・農地・機械等の確保に向けたサポートを行います。		
	農業法人等	滋賀県と連携し、進出を希望する農業法人等に対するマッチング支援や地域特性に応じた用地・施設の確保、地元での新規雇用創出の仕組みづくりなどに関する調査・検討を行います。		
	週末農業者	大津市を「週末農業の聖地」とするブランド戦略や棚田オーナー制度の活用により、市内外から週末農業希望者を集め、兼業農家や主業個人経営体へのステップアップを図ります。		○

## 大津市のチャレンジ

### 【認定農業者の数】

実績	目標	実績	目標
2016年度 (策定時)	2024年度 (2期)	2024年度 (2期)	2028年度 (3期)
27名	35名	27名	39名

## 2

### 「土をつくり、畑をたがやす」

#### － 守ろう！実り豊かな農村空間

農業の持続的な発展に向けて、農地の基盤整備や施設管理を進めるとともに、地域ぐるみでの維持管理体制づくりを推進します。

特に、地域計画を通じて農地の状況を的確に把握し、「中山間地域等直接支払制度」や「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」を活用して、地域での農地の維持・管理を支援していきます。また、農村RMOや週末農業の聖地化により、農業者以外の住民も農地保全に参画できる仕組みを整備し、獣害に強い品目・品種の試験栽培にも取り組みます。

これらの取組を通じて、地域全体で農地を守り、次世代に引き継げる持続可能な農業環境の構築を進めていきます。



#### 基本施策

1. 農業施設を適切に管理し、計画的に更新します
2. 遊休農地の発生を防ぎ、美しい水田環境を守ります
3. 環境保全型農業を進め、きれいな水を守ります
4. シカやイノシシなどの被害に対する取り組みを進めます

#### 市民のみなさんも参加しよう！

- 地域の草刈りや水路掃除に参加してみよう！
- 環境こだわり・オーガニック農産物を探して購入してみよう！

■具体的取り組み

基本施策	キーワード	具体的取り組み	計画全体の重点項目	第3期の重点項目
1. 農業施設を適切に管理し、計画的に更新します	環境整備	農業の基盤となるほ場整備を推進して生産性の向上を図るとともに、地域全体で農業施設の適正管理を進めます。		
2. 遊休農地の発生を防ぎ、美しい水田環境を守ります	維持・管理	地域計画を通じて地域内の農地の状況を把握するとともに、中山間地域等直接支払制度や世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策により、地域での農地の維持・管理に対する取組を支援します。	○	
	体制強化	農村RMO（農村型地域運営組織）や週末農業の聖地化により、農業者以外の方が農地の維持・管理に参加する体制づくりを推進するとともに、獣害に強い品目・品種の試験栽培にも取り組みます。		○
	棚田振興	中山間地域等直接支払制度や棚田オーナー制度を活用して、棚田地域の有する多面的機能の維持と高付加価値化を推進します。		
3. 環境保全型農業を進め、きれいな水を守ります	有機農業	有機農業を学べる学校や体験農園の誘致など、市内で面的に有機農業が広がる仕組みづくりを検討します。		
4. シカやイノシシなどの被害に対する取り組みを進めます	環境整備	有害鳥獣被害対策の周知・啓発を行うとともに、市内に整備された侵入防止柵の維持管理に努め、シカやイノシシが近づきにくい環境整備を進めます。		

大津市のチャレンジ

【地域計画の作成件数（人・農地プランの作成件数）】



※ 農業経営基盤強化促進法が改正（2024年4月施行）され、「人・農地プラン」は「地域計画」として法定化されました。

### 3

## 「種をまき、育てる」

### － 探そう！さらなる農の可能性

大津市の主力農産物として、2017年にジャガイモ、ニンジン、タマネギ、キャベツ、ブロッコリーの5品目を選定しましたが、市場や学校給食でのニーズ及び試験栽培の支援実績を踏まえ、新たにネギとサツマイモを加え、重点7品目として生産拡大に取り組み、安定的な供給体制を築いていきます。

さらに、営農環境に適したスマート農業技術の導入や水稻の直播栽培などの新技術を検証し、気候変動に対応した新品目・新技術の導入を進めます。効率的で持続可能な農業モデルを構築することで、生産性と環境対応を両立します。

また、生産履歴のデジタル化による安心・安全な農産物づくりの推進や、大学等との連携を通じた農産物の高付加価値化も進め、次世代へとつながる農の可能性を追求していきます。



### 基本施策

1. 大津の主力農産物をつくり、生産量を増やします
2. 安心安全な農産物をたくさん作ります
3. 新しい農業にチャレンジします
4. これまでにない大津らしい新商品を作ります
5. 大学等との連携を深めます

### 市民のみなさんも参加しよう！

- 重点7品目野菜を購入して食べてみよう！
- 異業種連携で生まれた新商品を試してみよう！



基本施策	キーワード	具体的取り組み	計画全体の重点項目	第3期の重点項目
1. 大津の主力農産物をつくり、生産量を増やします	量の担保	ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、キャベツ、ブロッコリー、ネギ、サツマイモを重点7品目と定め、大津市産農産物の生産拡大に取り組みます。	○	
2. 安心安全な農産物をたくさん作ります	質の担保	生産履歴のデジタル化や技術勉強会の開催を通じて、安全で環境に配慮した農産物の提供を進めます。		
3. 新しい農業にチャレンジします	技術実証	本市の営農環境に適したスマート農業の導入や水稲の直播栽培などの新技術を検証するとともに、気候変動の影響に応じた新品目や新技術の導入も推進します。		
	近郊農業	消費地が近いという本市の強みを活かし、都市農地での園芸品目の生産拡大や農福連携の促進に取り組みます。また、農産物自販機の導入など消費者に直売する仕組み作りも支援します。		○
	耕畜連携	畜産農家と関係者をつなぐ畜産クラスターを形成し、飼料用作物の地産地消や堆肥の地元循環を進めます。		
4. これまでになく大津らしい新商品を作ります	コラボ促進	農業者と事業者とのコラボを促進し、知見やネットワークを活かした新商品・新サービスの共同開発を支援します。		
5. 大学等との連携を深めます	高付加価値化	大学の知見やネットワークを活用した新商品開発やマーケティングを進めるとともに、農業者と連携した共同研究や学生向けの短期農業アルバイト制度の構築なども推進します。		

### 大津市のチャレンジ

#### 【市内における販売用野菜の作付面積】



## 4

## 「収穫し、お届けする」

## － 広げよう！農の恵みをどこまでも

まず市場や直売所、量販店と定期的に意見交換を行い、消費者のニーズを的確に把握します。その上で、生産者が求められる作物を安定して供給できる体制づくりをめざします。

さらに、直売所や道の駅と連携し、学校給食向け野菜や特産野菜のブランド化を進めます。子どもたちの食育や地域に根ざした食文化の継承につなげるとともに、市内外に向けて大津市産農産物の魅力をPRしていきます。



こうした取組を通じて、生産と消費をつなぐ新たな循環をつくっていきます。



## 基本施策

1. 卸売市場への安定的な出荷を行います
2. 市場以外の様々な流通に取り組みます
3. 地産地消を進め、安全安心な農産物を届けます
4. 大津市産農産物についてさらにPRします

## 市民のみなさんも参加しよう！

- 大津市産農産物を扱う飲食店に行ってみよう！
- 朝市やマルシェ、直売農家を訪問して農業者と交流してみよう！

■具体的取り組み

基本施策	キーワード	具体的取り組み	計画全体の重点項目	第3期の重点項目
1. 卸売市場への 安定的な出荷を行います	市場流通	市場や直売所、量販店と定期的に意見交換して消費者のニーズを把握し、そのニーズに応えられるような生産体制の強化を推進します。	○	
2. 市場以外の様々な流通に 取り組みます	規格外の活用	市場の規格に合わない農産物について、その実態を把握するとともに、事業者との連携を通じた加工品の開発や子ども食堂への提供に向けた調査・検討を行います。		
	市場流通外	共同配送システムの導入やオンライン直販サイトの開設支援など、農業者と消費者が直接つながる多角的な販路の構築を検討します。		
3. 地産地消を進め、 安全安心な農産物を届けます	マッチング促進	市のホームページ等で担い手の情報を発信して市内の飲食店や観光事業者とのマッチングを促進し、大津市産農産物を使用する事業者を増やします。		
4. 大津市産農産物について さらにPRします	情報発信	市のホームページ等で大津市産農産物の情報を発信するとともに、朝市やマルシェ、直売農家など農家から直接購入できる機会を紹介します。		
	ブランド化	直売所や道の駅と連携して学校給食向け野菜や特産野菜のブランド化を実証し、大津市産農産物をPRします。		○

大津市のチャレンジ

【JA直売所及び卸売市場への大津市産青果物の出荷額】



## 5

## 「恵みを味わい、農に親しむ」

## － 楽しもう！身近な暮らしにあふれる農

子どもたちが農に触れ、食の大切さを学べる環境づくりを進めます。学校給食への大津市産農産物の供給拡大に加え、出前授業やほ場見学を通じて、未来を担う世代が農業を身近に感じられる機会を広げていきます。

さらに、米作りを学べる機械付き農園や有機農業が学べる農園、高齢者や障害者も利用できるユニバーサル農園など、多様な市民農園の開設を支援することで、誰もが農業に関わり、自らの暮らしに「農」を取り入れられる場を提供していきます。



こうした取組により、子どもから高齢者まで幅広い世代が農を体験し、地域全体で農業の価値を共有できる大津市を実現していきます。



## 基本施策

1. 大津の農業にふれあう機会を増やします
2. 小学校や中学校にて農業の理解を深めます
3. 市民農園や観光農園をさらに活用します
4. 大津の食を楽しむイベントを支援します

## 市民のみなさんも参加しよう！

- ほ場見学会や観光農園を通じて実際に農業の現場を見てみよう！
- 趣味や副業としてライフスタイルに農を取り入れてみよう！

基本施策	キーワード	具体的取り組み	計画全体の重点項目	第3期の重点項目
1. 大津の農業に ふれあう機会を増やします	関係人口	大津市を週末農業の聖地とするブランド戦略や棚田オーナー制度の活用により、市内外から週末農業希望者を集め、農を取り入れたライフスタイルの提唱と農業による関係人口の拡大を図ります。		
	都市農地	都市農地の多面的機能に着目し、地域の交流拠点や防災など、生産緑地制度を含めた都市農地の有効活用と付加価値向上に向けた調査・研究を行います。		
	女性参画	子育て支援活動団体や大学と連携し、食を通じて女性が農業に参入できる仕組みづくりを検討します。		
	農福連携	高齢者や障害者、ひきこもりの状態にある方などが農を通じて生きがいを感じ、就労や社会参画につながるような農福連携の取組を推進します。		
2. 小学校や中学校にて 農業の理解を深めます	学校給食	学校給食への大津市産農産物の供給拡大に加え、出前授業やほ場見学を通じて子どもたちが農に触れる機会を広げます。	○	
	キャリア教育	農業者による職場体験の受入れや市・関係機関が主催する農業関連プロジェクトへの参加促進を通じて、農業によるキャリア教育を推進します。		
3. 市民農園や観光農園を さらに活用します	市民農園	米作りを学べる機械付きの農園や有機農業が学べる農園、高齢者や障害者も利用できるユニバーサル農園など多様な市民農園の開設を支援します。		○
	観光農園等	ほ場見学会や観光農園を通じて、消費者が農業の現場に足を運ぶ機会を増やします。		
4. 大津の食を楽しむ イベントを支援します	イベント支援	担い手が開催するマルシェやイベントの開催を支援し、消費者が直接農業者と交流しながら食を楽しむ機会を提供します。		

### 大津市のチャレンジ

#### 【学校給食における大津市産農産物の供給可能量】

実績	目標	実績	目標
2016年度 (策定時)	2024年度 (2期)	2024年度 (2期)	2028年度 (3期)
14.6トン	67.0トン	48.4トン	90.0トン